

医療センターだより

よしぶえ

NEWS LETTER

No.12



2016年1月発行

認定看護師の紹介

5つの基本方針

- 1. 地域の視点に立った信頼される医療を目指します。
- 2. 安全性が保障された質の高い医療を追求します。
- 3. 地域の医療機関や福祉施設との連携を進めます。
- 4. 活力に溢れ、誇りを生み出す組織風土を醸成します。
- 5. 公営企業として、経営の健全化に努めます。



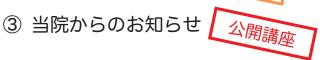
[掲載項目]

① 表紙《災害医療訓練》



② 認定看護師の紹介





④ 給食システムについて



⑤ こんにちは



⑥ 地域医療課通信



特集!! 当院の認定看護師を紹介します。

認定看護師制度は、特定の専門分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりと質の向上をはかることを目的としています。(出典:公益社団法人 日本看護協会HP)

当院では、9領域12名の認定看護師が活躍しています!!



皮膚・排泄ケア認定看護師:近野 由美

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡ケア、オストミーケア、失禁ケアの3領域 を専門としています。今は、地域医療課で院内の看護と同時に、退院後、自宅 で療養生活を送る方の相談を含め地域との連携を図る役割も担っています。



皮膚・排泄ケア認定看護師:北田 勇也

皮膚・排泄ケア認定看護師は褥瘡(床ずれ)、ストーマケア、失禁ケアで専門性を発揮します。私は特に褥瘡(床ずれ)の分野で専門性を発揮しています。 褥瘡発生予防のために勉強会を実施、褥瘡のある人を回診で看て、適切なケアが行われるように頑張っています。これからも医療の質が上がるように努力していきたいです。



がん性疼痛看護認定看護師:木本 美由紀

がん疼痛を有する患者さんの疼痛の評価を行い薬物療法・非薬物療法を組み合わせ、患者さん個々に合わせた最良のケアを考えます。緩和ケアチームに所属し、様々な問題を抱える患者さんやその家族に対して主治医・担当看護師ほか多職種で支援できるよう、活動しています。



がん化学療法認定看護師:川 嶋 頼 子

抗がん剤治療も多様となり、副作用の症状も様々みられるようになりました。 そのため、患者さんやその家族に治療法や副作用対策を理解し、安全に治療を 受けて頂けるよう援助を行っています。また、医療者の職業曝露対策への活動 も行っています。



感染管理認定看護師:林沼 聖子

感染管理は『患者さんおよび病院に働くすべての人々を感染から守る』という ことが目的となります。感染が起こらないように、また万が一感染が起きても 周囲に拡げず早期に収束するように、日々感染制御チームメンバーと共に活動 を行っています。



糖尿病看護認定看護師:片山 初美

病気を持ちながら生活している患者さんの思いを知り、患者さんとともに生活を振り返り、生活の中で目標を見つけられる様、糖尿病患者さんの療養生活を 支援しています。

特に糖尿病教育入院では、糖尿病チーム全体で患者さん1人1人をサポートしています。

特集!! 当院の認定看護師を紹介します。















糖尿病看護認定看護師:初古 智美

外来で糖尿病療養生活の支援を行っています。日々の生活の影響を受けやすいため、糖尿病療養には休みがありません。患者さん自身で生活と治療とを調整いただけるように、生活を伺いながら、療養のポイントを確認しています。



新生児集中ケア認定看護師:栗 原 通 子

早産児や疾患をもって生まれてきた新生児が、胎外の環境にできるだけ早く対応できるようなケアを実践しています。NICUは、治療の場でもあると同時にこどもの成長を育む場でもあります。家族の始まりを支え、ご両親が子どもの成長発達にあわせた育児を主体的に行えるよう支援しています。



新生児集中ケア認定看護師:森本 晃 弘

入院した新生児の生理的な安定と成長発達を促すため、ディベロップメンタルケアに積極的に取り組んでいます。また、母乳育児がスムーズに行えるよう支援をおこなっています。



透析看護認定看護師:井本 千秋

透析室で勤務していますが、透析患者さんだけではなく、透析になる以前の腎臓病の方にも関わっています。日常生活のアドバイスをしたり、相談にのったりしながら、腎臓病や透析と上手く付き合っていただけるよう支援しています。



救 急 看 護 認 定 看 護 師:村 中 恵 美

患者さんの身体所見やフィジカルインタビュー(問診)を基に状態を判断し、 病態に即応した救命技術(心肺蘇生法、呼吸器ケア、応急手当など)を展開し ています。また、救急医療はあらゆる場面において、初期対応が求められます ので、急変に対応できるスタッフ育成とその支援に努めています。



集中ケア認定看護師:山田かの子

集中治療室の患者さんの多くは生命の危機的状況に置かれており、治療上必要な処置は痛みや不安を感じることが多いと考えます。苦痛をできる限り取り除き、少しでも早く社会復帰に向かえるよう看護提供を実践しています。

市民公開講座(3講座)を開催しました。

第6回慢性腎不全市民公開講座を開催しました。

日 時:10月4日(日)10時~12時

場所:滋賀県立男女共同参画センター

今回のテーマは「減塩」。NHK「ためしてガッテン!」にも当院の取り組みを紹介していただきまし た。生活習慣病と腎臓病に関連したテーマで、「第6回慢性腎不全市民公開講座」を実施しました。200 人を超える受講者を迎え、当講座を大盛況で終えることができました。

第8回糖尿病市民公開講座を開催しました。

時:11月7日(土)10時30分~14時30分

場の所:近江八幡市立総合医療センター

糖尿病への移行を防ぐための対処法を学ぶ機会を、地域の方々に提供することを目的として、「第8回 糖尿病市民公開講座」を実施しました。当院スタッフによる糖尿病劇場や、糖尿病食の体験、頸動脈エコー や筋力量測定や血糖値測定等、各種検査をしたり、運動体験をしたりと、参加型の講座が大いに盛り上が りました。

第3回小児外科市民公開講座を開催しました。

日 時:11月14日(土)10時30分~12時20分

場所:近江八幡市立総合医療センター

小児外科疾患に対する理解を深めていただき、子どもの健康増進を目的とし、「第3回小児外科市民公 開講座」を実施しました。今回は、子どもの身長と体の発育について、当院小児科医師も講演に加わり、 日常保護者の方々が心配される小児科疾患についても講演いただきました。

今後も、地域の皆様の健康増進にお役に立てるよう、各チーム一同頑張ってまいりますので、 よろしくお願いいたします。

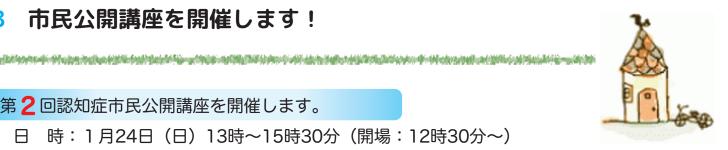
市民公開講座を開催します!

第2回認知症市民公開講座を開催します。

時:1月24日(日)13時~15時30分(開場:12時30分~)

所:近江八幡市立総合医療センター よしぶえホール

テーマ:『もの忘れが気になったら!認知症のはなし』



NEWS

安心安全な病院食を支える給食システムについて

- 栄養管理科より -

当院の厨房は新病院への移転時にニュークックチルシステムを導入しました。

「ニュークックチルシステム」とは、下図の工程による給食管理システムをいいます。

前日までに加熱調理した料理を90分以内に中心温度0~3℃まで冷却し、細菌が繁殖しにくい低い温度 帯のまま保存・盛りつけ・トレイへのセットを行い、再加熱カートに入れ、提供時間に合わせて温かい 料理は温められ、冷たい料理はそのまま冷たい状態を保ち提供されます。



衛生管理において「調理後の食品は、調理終了後から2時間以内に喫食することが望ましい」とされ ており、このシステムの導入により、最終的な加熱から2時間以内により適切な温度での食事提供が可 能となりました。

従来の「当日調理・当日喫食」のクックサーブシステムに比べ温度管理や衛生面でも優れたニューク ックチルシステムですが、調理時・再加熱時と二度の加熱工程があるため、料理の過度な加熱や乾燥が 起こりやすいという問題があります。

今年8月に実施した嗜好調査においては、約8割の方から「食事の温度がほどよい」という回答を得 ました。また、魚のパサつきや米飯の乾燥が気になるというご意見も頂いています。

今後も患者さまのご意見を反映し、よりよい給食管理・栄養管理に努めてまいります。



例











当院で産まれた赤ちゃんを紹介します!



思いやりのある子に 育ってね(





元気いっぱいに 育ってね!(

マからひとこと

織ちゃん (2015年11月29日生まれ・3244g)

●保護者の方から掲載希望をいただいた赤ちゃんのみ掲載しております。

地域医療課通信

がん撲滅をめざすリレーフォーライフ、ジャパン2015

~ この事業に、近江八幡市立総合医療センターとして参加しました ~

● と き:平成27年10月24日(土)12時 ~10月25日(日)12時

● ところ:休暇村 近江八幡(近江八幡市沖島町宮ヶ浜)

● 内 容:がんに関する啓発(24時間ウォーキング・ルミナリエセレモニー・がん相談・講演会)

支援コンサート・各種バザー・模擬店など

がんに立ち向かう家族や友人を励ますため、亡くなった大切な人を偲ぶために、患者さんご自身の想いなどをメッセージにして綴られた紙筒(ルミナリエバッグ)を、ウォークトラックに沿って並べ、キャンドルを灯し、希望の光として会場を包みました。また、がん征圧の願いを込めて、24時間夜通し、タスキをつなぎながら交代で歩き続け、当院もこのリレーウォークに参加させていただきました。



応援したり、模擬店、バザーなどもあり、楽しいイベントとなりました。

来年も開催される予定ですので、是非、皆さまも一度ご参加下さい。



その他にも、がん予防のための検診コーナーや啓 発ブース、医療セミナーなどで、啓発活動などのお 手伝いをさせていただきました。

歌や演奏、パフォーマンスでウォークする人達を



近江八幡市立総合医療センター

http://kenkoul.com/

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地 TEL 0748-33-3151 FAX 0748-33-4877

*病院へのご意見・ご質問をお寄せください。

発行:広報プロジェクトチーム

当センターで医療を受けられる方の権利

- 1. 人権が尊重され、良質で適切かつ安全な医療を、平等・公正に受けることができます。
- 2. 自分の受ける医療について説明を受け、検査や治療方法などを自分で選ぶことができます。
- 3. 診断や治療について、他の医師の意見 (セカンドオピニオン) を求めることができます。
- 4. 診療情報の提供、又は診療記録の開示を求めることができます。
- 5. 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。